

「四万十市文化複合施設（仮称）管理運営基本計画（素案）」に関する
パブリックコメント（意見公募）の結果について

1 意見公募の概要

| | | |
|---------------------|-------------------------------|----|
| 募 集 案 件 | 四万十市文化複合施設（仮称）管理運営基本計画（素案） | |
| 募 集 期 間 | 令和元年12月20日（金）から令和2年1月20日（月）まで | |
| 意見提出者数 | 6人 | |
| 提 出 件 数 （提出方法内訳） | 13件 | |
| | 持参9件、メール3件、ファクシミリ1件 | |
| 意見等の反映状況 | A 意見を踏まえ、計画等に反映したもの | 1件 |
| | B 意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの | 3件 |
| | C 今後の検討のために参考とするもの | 9件 |
| | D その他（質問など） | 0件 |

2 ご意見と市の考え方

| No. | 該当貢 | 項 目 | 意見の内容（要旨） | 市の考え方 | 反映 |
|-----|-----|-----|--------------------|---|----|
| 1 | 表紙 | 名前 | 四万十市文化複合防災センター（会館） | 本施設は、文化芸術等の拠点施設として考えており、防災拠点施設とは考えていないため、名称に「防災」を入れるのは難しいと考えます。施設の名称、愛称等を公募することも検討しますが、施設の基本理念や考え方を踏まえ、相応しい施設の名称を決定します。 | C |

| | | | | | |
|---|----|------------------|--|---|---|
| 2 | 18 | 5 施設運営における防災上の観点 | 市民の命を守る施設として最大の重点を置くこととする。旧町内数千人の命を守る施設として最大の工夫をし、(例えば)椅子を倒せばベッドになる等の施設としては主体となる文化面の発展と共に最大の行政施設とし、国、県から防災施設としての補助を引き出す。30年以内に70~80%で見舞われる大震災でフル活動出来る施設としたい。 | 本施設は、災害時の避難所としても想定しています。そのため、災害時に利用できる諸室として、小ホールや大会議室、和室、調理実習室等を想定し、自家発電や熱源として重油の使用の計画、災害時に対応できるトイレの導入などを検討しています。また、3階には備蓄庫を計画しています。 なお、防災施設としての補助金等は、既存3施設の場所が津波浸水想定区域になっていないため活用が難しい状況ですが、施設整備に係る財源として、他の有利な交付金や起債を活用できる見込みです。 | C |
| 3 | | | 文化複合施設(仮称)の令和5年度への開館に向け、基本理念にもとづき、周到な取り組みをされてますこと敬意を表したいと存じます。開館後は市民の文化活動の拠点として、存分にその機能を果たす施設であって欲しいと願っています。 | 施設の基本理念である「未来を紡ぐ参加・交流・創造の拠点」に基づき、文化芸術の中核拠点等必要な機能が備わる施設となるよう、市民の皆さんのご意見をお聞きしながら整備を進めていきます。 | B |
| 4 | 5 | (1)施設提供事業 | これからは愛好会としての意見を出させていただきます。愛好会は平成5年発足、現在会員70名、年6回(偶数月の第3週土曜日)の大会、大会参加者は50人ほど、これまで公民館の登録団体として、活動を支援していただきました。具体的には、和室Ⅰ・Ⅱ、そして用具の置き場所として押し入れを利用させてもらってきました。 P5に示された国民娯楽としての囲碁ですが、私たちの愛好会は、これまで公民館が支援していただく中、多くの参加者のもとで、活発に活動してきました。開館後も引き続き支援していただくことを願っています。 | ご要望を踏まえ、今後も可能な限り支援していきます。 | C |
| 5 | 16 | ④利用対象施設 | 施設開館後への要望 1 会員の高齢化もあって和室でなく、机、椅子の使用可能な50名ほど利用できる会議室をお願いします。 2 囲碁用具の置き場所をお願いします。用具の置く容積としては、1立方メートル程度のものです。用具は他から持ち運びできにくいものですので、ぜひお願いしま | 50名ほどが机・椅子を使用して囲碁ができる諸室として、大会議室や展示室(兼会議室)、練習室(兼会議室)などが、利用可能と思われます。 用具の保管場所については、新施設においてスペース的な余裕がない中で、登録団体の所有 | C |

| | | | | | |
|---|----|--------------|---|--|---|
| | | | す。 | 物専用の保管場所を確保することは、他の利用者とのバランスからも難しいと考えます。 | |
| 6 | 16 | 利用時間 | 3 これまで通りの利用時間を設定して欲しく思います。 | 開館時間や利用時間の区分については、来年度詳細に検討しますが、これまでどおりの時間の利用は可能です。 | B |
| 7 | 5 | 2 実施する事業の方向性 | これまで四万十市で行われてきた活動を踏まえながらも新たな利用者・来館者を巻き込んだ活動を・・・の部分について。 文化複合施設の使命の繋げるのとおり「活動を踏まえながらも」は「活動を継続させながら」などのように、今ある活動を継続させるという内容の文言にしたほうがいい。 | これまでの活動を継続させることに加え、さらに発展させていきたいということが趣旨ですので、いただいたご意見を踏まえ、「これまで四万十市で行われてきた活動を軸に発展させながら、新たな利用者・来館者を巻き込んだ活動を促進していく…」という内容に修正します。 | A |
| 8 | 15 | ◆利用者の決定方法等 | 生涯学習課の登録団体制度については新施設となるため見直しを行いますのがあとに、「既存の登録団体の全てがスムーズに複合施設（仮称）での活動に移行できるようにします。」を挿入していただきたい。 3施設を利用している団体は四万十市役所で分かる範囲で155団体あるということです。 広報しまんとNo171 2019 7月号には登録団体等の活動につきましては、その活動が停滞することのないよう代替施設の利用料などへの支援策を検討してまいります。とあり、3施設の解体に伴う支援をしている。 それであるにもかかわらず、この素案には本当に、繋げる使命を感じとれない。理念と使命は根本でありこれに従うこと。 この155団体を継続させ、これをスタートとして、なお多くの団体が新しい複合施設（仮称）の場でますますの活動をしていけるようにすることが使命そのものです。そのために必要な施設設計となっているのかの検証も必要と考えます。 | ここでは、「利用者の決定方法等」についての記載であるため、既存の登録団体のスムーズな移行に関し言及はしませんが、いただいたご意見を踏まえ、これまで活動されていた団体においては、その活動が衰退しないよう、また、新たに文化芸術活動等を始めようとする市民・団体等においては、利用しやすい施設となるよう検討していきます。 設計については、登録団体をはじめ多くの利用者が充実した活動ができるよう、市民の皆さんのご意見も踏まえ精査しながら進めていきます。 | C |
| 9 | | | 50～100人収容出来る部屋に有線の光回線の端末を設置して頂きたい。 理由は、最近高知市や他県の会場とインターネットで繋ぎ、講習会のサテライト中継を行っているのですが用意 | 市外で開催される講習会等を市内でライブ受講できるといった環境は、これからの情報化社会においては大変有益性の高いものと認識しています。インターネット環境の整備は既に | C |

| | | | | | |
|----|----|-------------------|---|---|---|
| | | | した無線のWi-Fiルーターでは、不安定で度々中継が中断しているのが現状です。 災害時に避難所として使われるなら無線よりも有線が有用と思われます。新設に当たって考慮頂ければ幸いです。 | 計画していますので、災害時の対応も含め安定した通信ができるよう、有線LANの整備についても検討していきます。諸室の中でも、会議室やホール等は必要度が高いと思われますが、設置箇所等導入の方法については、費用対効果や市民ニーズなどを踏まえ検討していきます。 | |
| 10 | 5 | (1) 施設提供事業 | 今一度、文化センター、公民館、働く婦人の家で文化芸術活動内容を振り返り精査頂き、同様かそれ以上の機能が果たせる施設（設備、什器、給湯設備、各室のレイアウト等々）となっているかご確認をお願いしたいです。公民館と働く婦人の家では、生活文化、国民娯楽の活動が多く行われていたと思います。そちらの活動も今まで同様に支障なく使い勝手良く活動出来ることも重要です。ホール機能は目玉であるのでその充実も大切です。それによってイベント編重の計画となりがちで、生活、娯楽で利用の視点が薄れてないか、気がかりです。 | 設計において、各諸室のレイアウトについて検討してきましたが、具体的な設備や什器等の備品、各諸室の仕様については、来年度検討していきますので、今後も市民の皆さんのご意見をお聞きしながら、これまで以上の機能が果たせる施設となるよう精査しながら進めていきます。 いただいたご意見を踏まえ、複合施設であることを念頭に、ホール機能とともに生活・娯楽等での利用においても充実した施設となるよう、ハード・ソフト両面で検討していきます。 | C |
| 11 | 16 | ③利用時間についての基本的な考え方 | 練習室、会議室など、1～2時間単位の利用時間設定は賛成です。採用を希望します。 | 利用時間について、現施設では「午前」「午後」「夜間」の区分としていますが、練習室や会議室などの創造支援機能諸室については、1～2時間単位で利用できるよう多くの意見をいただいています。より多くの利用者が施設を活用できるよう、いただいたご意見を踏まえ、来年度策定予定の管理運営実施計画の中で、詳細な利用時間区分について検討します。 | C |
| 12 | 18 | (2) 避難所としての運営 | 避難所として確実にライフラインの確保が出来ることをお願いしたいです。今後、検討する上でQOLを低下させないために衛生面（トイレや生活ゴミの処理、等）重視の対策折り込みを望みます。 | 本施設は、災害時の避難所として想定しています。そのため、災害時に利用できる諸室として、小ホールや大会議室、和室、調理実習室等を想定し、自家発電や熱源として重油の使用の計画、災害時に対応できるトイレの導入などを検討しています。また、3階には備蓄庫を計画しています。 いただいたご意見を踏まえ、ライフラインの確保やQOLを低下させないような対策につ | C |

| | | | | | |
|----|--|--|---|---|---|
| | | | | いて、さらに検討していきます。 | |
| 13 | | | <p>幡多地方の中心的な四万十市におき新しい文化複合施設は多くの人々が期待して（とても）いる事と思います。全てが要望どおりに出来るわけではないと思いますが自然の豊かさを生かしながらこの地方ならではの文化発信の一つになれば良いし、またなってほしいと思います。</p> <p>その一つとして陶芸クラブとしては陶芸窯を備えてほしいと思います。是非お願いします。</p> | <p>四万十ヒノキ等の市産材の利用や四万十川の流れをイメージしたデザイン等、自然が豊かな四万十市らしい施設となるよう計画を進めています。</p> <p>陶芸窯については、創作室に設置するよう計画しています。</p> | B |